

JOC ジュニアオリンピックカップ

令和2年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会長野県予選会
兼 第75回国民体育大会柔道競技長野県選手選考会（少年男女）

実施要項

1. 主 催 長野県柔道連盟
2. 共 催 財団法人長野県体育協会
3. 日 時 令和2年4月5日（日） 開会式 午前9時30分
4. 会 場 長野県立武道館 佐久市猿久保 165 番地 1
5. 競技方法
 - (1) 男女各 7 階級にて行う

男子	・ 6 0 kg級	・ 6 6 kg級	・ 7 3 kg級	・ 8 1 kg級
	・ 9 0 kg級	・ 1 0 0 kg級	・ 1 0 0 kg超級	
女子	・ 4 8 kg級	・ 5 2 kg級	・ 5 7 kg級	・ 6 3 kg級
	・ 7 0 kg級	・ 7 8 kg級	・ 7 8 kg超級	
 - (2) トーナメント方式で行う。但し、人数によってはリーグ戦もありうる。
6. 出場資格
 - 【男子】
 - (1) 日本国籍を有し、長野県柔道連盟を通して全日本柔道連盟に登録している者。
 - (2) 平成 12 年(2000) 1 月 1 日以降、平成 17 年(2005) 12 月 31 日以前の出生者。
(2000 年中に 15 歳 ～ 20 歳になる者。)
 - (3) 都道府県予選の出場は 1 地区に限る。
 - (4) 第 42 回全国高等学校柔道選手権大会長野県大会の 60 kg級～81 kg級ベスト 8 入賞者及び無差別級ベスト 16 入賞者とし、当該大会への出場階級は選択できることとする。
 - (5) 各地区高校生推薦者 4 名。
※推薦者 4 名については各地区にて精査調整し申込み願います。
 - (6) 前年度の県中学総体決勝進出者 2 名。
 - (7) (2)を満たす、長野県中学校体育連盟柔道専門委員長が推薦する各階級推薦者 1 名。
※(6)の決勝進出者。
 - (8) (1)～(3)を満たす、各地区からの社会人、大学生、専門学生の出場者数の制限はしない。(オープン参加)
 - (9) 推薦出場枠として、前年度各階級優勝者で上記(1)・(2)の条件を満たす者は前年度階級から出場できる。
また、各階級上下 1 階級の出場階級も選択できるがシード権は消滅する。
 - 【女子】

男子出場資格 (1) ～ (3) まで同様

 - (4) 各地区からの出場者数は制限しない。(オープン参加)
7. 審判規定
 - ・最新の国際柔道試合審判規定（2018-2020）によって行う。
 - ・試合時間は男子、女子ともに 4 分間。
 - ・優勢勝ちの判定基準は「技あり」とする。技による評価が同等の場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。
 - ・ルール等において疑義が生じた場合は、当日の審判監督会議において決定する。
※ルール等に変更が生じた場合は、長野県柔道連盟公式ホームページ『柔道ながの』で周知します。

8. 服 装

- (1) 全日本柔道連盟柔道着規定に適合の柔道着を使用すること。柔道着は白色を使用する。
- (2) 選手は背部に下記の要領でゼッケンを縫い付けること。

ア 布地は白色（さらし、太綾）とする。

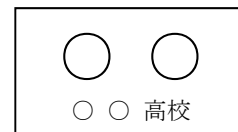
イ サイズは横 30 cm～35 cm、縦 25 cm～30 cmとする。

ウ 苗字(姓)は上側 2/3、所属名は下側 1/3 にゴシック又は楷書で記載する。

男子は黒色、女子は朱色で記載する。※広告の入った柔道着・ゼッケンの使用は不可。

エ 縫い付けの場所は、後襟から 5 cm～10 cm 下部とし、対角線にも強い糸で縫い付ける。

※但し、進学等で年度当初柔道着が間に合わない場合は、前所属のものでも構わない。



9. 軽 量 大会当日、午前 8 時 00 分から 8 時 30 分まで長野県立武道館で行う。

10. 審判会議 午前 9 時 00 分より行う。

11. 申込み方法

所定の用紙に記入のうえ、下記によりお申し込み下さい。

(1) 申込先 〒383-0043 中野市大字三ツ和 1033-1 競技部長 中山重光 宛

(2) 切 令和 2 年 3 月 2 4 日 (火) ※郵送限定

(3) 参加料 2, 0 0 0 円 (申し込みと同時に納付する。)

(申込み用紙は長野県柔道連盟 HP よりダウンロードをお願いします。)

12. 上位大会への出場

・各階級 1 名に 7 月 5 日 (日) に新潟県にて開催される北信越大会への出場権を与える。

※但し、長野県予選会当日に、全柔連主催の全国大会に参加する選手がいる場合には、該当の階級において後日、優勝者と代表決定戦を行います。

13. その他、以下の点に留意すること。

(1) 試合中の負傷については応急手当のみ行い、その他一切の責任は負わない。

(2) 脳震盪対応について (ジュニア以下の大会にて規定) 下記の条項を理解・確認をし、参加申し込みをもって了承したものとします。

ア 大会前 1 ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。

イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは認めない。

(なお、至急、専門医 (脳神経外科) の精査を受けること。)

ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(3) 皮膚真菌症について

皮膚真菌症 (トリコフィトン・トンズランス感染症) については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認する。感染が疑わしい、若しくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行う。

もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、原則として大会への出場を禁止する。

(ただし、2 週間以内の治療証明書がある場合は、出場を認める。)